

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP3-11	研究期間	2011/2/23 から 2030/12/31
研究課題名	広島・長崎の原爆被爆者における小児期ならびに胎児期の放射線被曝と老年期の神経認知機能		
研究責任者（所属）	石原佳代子（放射線影響研究所）		
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的： 放影研では、原爆被爆者の皆さまにご協力いただき認知機能に対する放射線被ばくの影響を調査してきました。この研究の目的は、高齢者の神経認知機能の状態が放射線被ばくにより影響があるかどうかを明らかにすることです。 利用方法： 放影研での健診（成人健康調査）対象者の方に同意をいただき、郵便調査から神経認知機能を調べて、被ばく放射線との関係を解析します。研究に使用する情報はすべて匿名化されます。		
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する試料・情報の項目 （提供する試料・情報の取得の方法）	放影研に記録されている以下の情報：性別、都市、生年月日、被ばく放射線量、爆心地からの距離、認知機能に関連する情報（診断名、発症日、症状、画像情報、治療歴など）、死因情報および死亡日、生活習慣に関する情報（喫煙歴など）。 情報の利用開始日は2011年2月23日です。		
利用する者の範囲	放射線影響研究所 石原佳代子、リンドナー・ハナ、三角宗近、坂田 律、喜多村紘子、中溝知樹、山田美智子、飛田あゆみ、大石和佳 広島大学 丸山博文		
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	石原佳代子（放射線影響研究所）		
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 兒玉和紀		

問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：石原佳代子 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>
--------	---